

令和8年3月11日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立原町小学校
校長 加藤 明恵

令和7年度 目黒区立原町小学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

- (1) 第1回実施日時 令和7年11月18日(火) 午前10時00分～午後12時30分
 - ・区学力調査の結果について・基礎学力定着のための方策
 - ・起業家教育各学年の取り組みについて
- (2) 第2回実施日時 令和7年12月19日(金) 午前10時00分～午後12時30分
 - ・学校経営方針・学校行事・児童の様子・学校の雰囲気について
 - ・校内研究・小中連携・体力向上・地域との連携などについて

2 参加者

- ・学校運営協議会委員 井上 忠之
- ・学校運営協議会委員 藤本 美恵子
- ・学校運営協議会委員 乗松 文江
- ・学校運営協議会委員 長谷川 弘信
- ・学校運営協議会委員 伊藤 絵里奈
- ・学校運営協議会委員 植 英俊
- ・学校運営協議会委員 小倉 恵子
- ・学校運営協議会委員 杉浦 良子
- ・学校運営協議会委員 依田 悦子
- ・学校運営協議会委員 渡部 洋子

3 評価の結果等

※四者…児童・生徒、保護者、地域の方、教職員のこと。

評価項目	◎(成果)、●(課題)、 ◎(成果と課題の両者を含む)	次年度の教育活動の改善点	学校運営協議会の 意見
I 学校全体について ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて、家庭・地域との連携、地域人材の活用などについて	◎保護者からは「教職員の対応」は、13ポイント上昇。 ●全体に横ばいかほぼ同じ結果で高学年では、4.5ポイントの低下。先生が児童の話を聞く時間が少ないと感じているとわかった。	・児童の個別対応をす るために、10月から 「のびのびタイム」を 新設し、放課後週1 回、児童と個別指導や 聞き取りなど関われ る時間を設けた。	・玄関が以前に比べて 遊具などが片付けら れ、よく掃除されてい て気持ちよい。 ・昨年度より児童が、落 ち着いた。 ・先生方、主事さん方は いつも明るくてよい。
II 教育目標について ・教育目標、時程、教育内 容全体について	◎地域からは2ポイン ト上昇。 ●保護者からは、僅か 1ポイントダウン。	・地域・保護者へ年度末 に教育活動報告会を 実施し内容の周知を 図る。 ・40分午前5時間制 は定着している。教員 の約半数は今年度異	・すでに本校の児童は 40分授業に慣れて いて、45分授業に戻 れないと思う。 ・原町小らしさが感じ られ良く遊び、良く学 んでいる。

		動してきたので、45分授業から40分授業への切り替えをしていく。	
Ⅲ 心の教育について ・道徳科の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組について	◎保護者から14.3ポイント上昇した。上級生が小さい子の面倒をよくみている。 ●低学年で最も大きかった項目である。どの学級も道徳は、年間35時間確実に指導しているが、心の育成は、目に見えない。学校外での児童の行動が、課題になっている。	・道徳授業地区公開講座は、体育館で行った。参観者が少なかったものの、参観者からは好評であった。 さらに参加していただけるよう保護者に啓蒙が必要。	・道徳授業地区公開講座は、6年生の授業を観た。他人が配膳した給食に抵抗感があることや牛乳の残量が多いことに驚いた。 ・心豊かに育ててほしい。しつけは、家庭が大事。
Ⅳ 学習指導等について ・学力の定着・向上に向けた授業の改善・充実、習熟度別指導、原町タイム、主体的に学習に取り組む態度等の取組について ・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について	◎保護者からの評価が最も大きく上昇した項目である。15.6ポイント上昇 ●原町タイムの取り組みは知っている。ただ具体的に何をやっているかは保護者もまだよくわかっていない。	・紙に書くことは、大事である。学習用情報端末だけで思考が深まったと誤解しないよう文字に書くことで、考えを整理させたい。 ・年度末に教育活動報告会を実施して、原町タイム等の活動を周知していく。 ・基礎基本の定着のために全校が帯で取り組む学習タイムを設定する。	・学力をつけるために情報端末を利用してドリル的な練習なら、児童も喜んで取り組むのではないか。 ・掃除の時間に九九の歌を流すとか、上級生が2年生の九九練習の相手を務めさせると両者に勉強の機会になる。 ・校長先生の合格証を出したりすると意欲が高まるのではないか。
Ⅴ 体育・健康教育について ・体力向上、健康の促進に向けた取組について	◎保護者から11ポイントの上昇率となった。昨年に続き高い体力を維持している。特に持久力など素晴らしい結果。	・特に俊敏性と持久力が優れている。全国平均を大きく上回っている。引き続き次年度も、朝トレーニングを実施して体力向上を	・素晴らしい結果である。 ・授業中、机に突っ伏している子を見かける。体幹を鍛えてほしい。

	◎インフルエンザによる学級閉鎖がなかった。	めざす。	
VI 特別活動について ・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の充実などについて	◎学級会が上手になっている。低学年でも、活発な話し合いと議長団による進め方が定着してきている。 ◎キャリア教育が、全学年で段階的に導入されて実施できた。	・全校で継続していかなければ力は育たないので、しっかり学級会を確保していく。 ・学校公開でも、学級会を観ていただくなど、発信していく。	・特別活動の内容がよくわからない。学級会が含まれるとは知らなかった。 ・コミュニティースクールのご支援により、地域商店街に協力を得られてよかった。商店街と児童、双方により効果があった。今後も継続したい。
VII 学校生活全般について <生活指導> ・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて	◎いじめや不登校への迅速な対応は評価していただいている。 ●生活の規律を指摘する地域の方から15ポイントも下がっている。今後も継続指導が必要である。	・特別支援理解教育を毎年奇数学年で実施している。拠点校である強みを活かし、今後も発信していく。 ・「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」では、5年生が上手に発表する姿があった。校内に報告し学校全体に広めていく。	・昨年より、落ち着いて生活を送っている。 ・悪いことは、きちんと叱ってよし。 ・いじめ会議のプレゼンテーションが素晴らしかった。自分たちで作ったそうで、今の小学生は凄いなと思いました。
<防災教育・安全指導> ・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて	◎6月の学校公開で、3・4・5年で情報モラル教育の授業をしている。 ●自転車教室や防犯プログラム、マイタイムラインの授業なども行っているので実施後に保護者や地域へ情報発信をする。	・引き続き、保護者向け災害対策授業や、薬物乱用防止授業の公開を取組んでいく。	・起震車体験は、経験として良い。地域での体験施設がなくなってしまったので、区での取組がもっとあると良い。 ・参観日のようなときに、保護者にも参加してもらおうのはいかがでしょうか。
<幼・保・小・中連携> ・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について ・近隣の幼稚園・保育園	●唯一保護者からの評価が下がったのはこの項目である。幼保小中連携の様子が見えないことから、6	・次年度は、幼保小中の連携をもっとしていく。 ・やっていることも多いので保育園交流や	・住区まつりや、盆踊り、餅つき、あいさつ運動など、もっと多くの中学生にボランティア参加してほしい。

との連携について	ポイント減ってしま った。中学校統廃合 により、中学生によ る運動会や住区行事 へのボランティアや 挨拶運動が減ってし まったことが上げら れる。	小中交流したものを 学校ウェブサイト にアップして、保護者や 地域にアピールして いく。	
VIII 情報の発信 ・学校の情報発信の充実 について	◎保護者からは14.5 ポイント上昇した。ペー パーレスが進み、学校 だよりやお知らせが配 信されるようになった。 ●地域からは7.7ポ イント減少。配信され るものは、よく読ま なくなった人も多く、 おたよりに書かれてい ることを理解していな い人も目立つ。	・4月から地域に印刷 した学校だよりを配 っている。 ・月1回程度各学年の 様子を学校ウェブサ イットにアップして更 新している。 ・今後は給食のメニュ ーのみならず、でき るだけ多くの情報を発 信していく。	・町会の回覧板に、学 校だよりが配布され るようになった。電 子機器では読めな かった年配者も読 めるので嬉しい。
IX 教員の人材育成につ いて ・日常の職務をと おして専門性と協 働性の育成、教 育公務員の自覚 について	◎昨年より10ポ イント上昇。若手 教員向けOJT研 修を月1回程度 実施してきた。	・約半数の学級担 任はまだ3年目 までの経験の浅 い教員である。 切磋琢磨しあ うことが必要。	・先輩教員から、 多くを学んでい い先生になっ てください。
X 教員の働き方改革に ついて ・校務支援システ ムの活用、「チ ーム学校」を意 識した業務分担 等、組織的な業 務の効率化・最 適化について	◎19ポイント上 昇。8割を超える 教員が働き方改 革が進んでいる と自覚している。	・今後は、休暇を 取りつつも質の 高い教育が、提 供できるように 取り組むことが 大切である。	・退勤時間が早 くなり、休暇も 消化できるな ら、それは良い こと。健康を害 さないで働い てください。

<p>XI サービス事故の防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> サービス事故防止に向けた取組などについて 	<p>◎年に2回の教職員サービス事故研修を開催した。個人情報袋の利用により本年度もサービス事故は起きていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> サービス事故防止のみならず、常に「ヒヤリ、ハッと」を防ぎ、安全や事故防止に向け、業務改善を心がける。 サービス事故の処分公表資料等の情報を共有し、日常的に事故防止を意識付けいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな事故もなく、子ども達を育てていただき有難いです。
---	---	--	---